

## 十日町地域広域事務組合監査委員公表第1号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告を次のとおり公表します。

令和2年1月28日

十日町地域広域事務組合

監査委員 太田市郎

監査委員 太田祐子

### 令和元年度定期監査結果通知

- 1 監査の種類 定期監査
- 2 監査対象 令和元年度組合事務事業の中で主要業務と考えられるもの
- 3 監査対象期間 令和元年度
- 4 監査実施日 令和元年11月22日
- 5 監査の方法  
所管の財務に関する事務が、法令等の定めるところに従い適正に執行されるとともに、公正で合理的かつ効率的な事務運営が行われているかに留意のうえ実施した。  
監査は、令和元年度の事務事業の中から監査対象事業を指定し、あらかじめ提出された監査資料に基づく監査と併せて必要により関係職員の説明を求めて行った。
- 6 監査結果  
事務事業の執行は、おおむね適正に行われていたが、一部において改善や検討すべき事項が認められた。
- 7 意見  
下記指定事業について、別紙意見書のとおり報告する。
  - (1) 財務会計サーババックアップシステム構築委託
  - (2) 多言語通訳センター
  - (3) 指揮車更新事業
  - (4) 小型動力ポンプと小型動力ポンプ積載車の更新事業
  - (5) 立上り給水管設置工事
  - (6) 火の見櫓解体撤去工事

# 令和元度 定期監査意見書

令和2年1月28日

## 十日町地域広域事務組合

監査委員 太田 市郎

監査委員 太田 祐子

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和元年11月22日に令和元年度の定期監査を実施したので、下記のとおり意見書を提出します。

| 事業内容  | 意見   |
|---|--|
| <b>1 財務会計サーババックアップシステム構築委託</b><br>事業調書、契約書、見積書により、担当（総務課）説明   | 事業内容はおおむね適正だが、次のとおり、改善点や検討すべき事項が認められた。 <ul style="list-style-type: none"><li>・事業名称を適切でわかりやすい表現にすること。</li><li>・現行システムのメンテナンス事業者の提案だけでなく、他事業者などの見解も確認するなど、提案内容を精査すること。</li><li>・機器を5年更新としているが、技術進歩により延長の可能性もあるので、その都度確認をとること。</li><li>・システムは24時間稼働を前提として運用しているようであるが、業務内容からすれば24時間稼働に拘る必要はなく、一時停止を前提としたシステム構築や改善も可能であることを考慮されたい。</li></ul> |
| <b>2 多言語通訳センター</b><br>事業調書、業務活用イメージ図により、担当（警防課）説明             | 事業内容はおおむね適正と認められるが、次の点を今後望む。 <ul style="list-style-type: none"><li>・多言語通訳センターと連携して、外国人のスムーズな救急対応を努められたい。</li><li>・その際、大切なことは、初期対応段階での発音であるから、今後も定期的なリスニングとスピーキングの練習に努められたい。また、その成果の確認をとるよう図られたい。</li></ul>   |
| <b>3 指揮車更新事業</b><br>事業調書、契約書、内訳書により、担当（警防課）説明                 | 事業内容はおおむね適正と認められるが、同様の事業に今後当たっても、的確な仕様書の作成とともに、車両やメーカー情報を十分収集したうえで判断するなど、適切な公費支出となるよう努められたい。   |
| <b>4 小型動力ポンプと小型動力ポンプ積載車の更新事業</b><br>事業調書、契約書、内訳書により、担当（警防課）説明 | 事業内容はおおむね適正であった。上記3と同様となるが、的確な仕様書の作成によるなど、適切な公費支出となるよう努められたい。  |
| <b>5 立上り吸水管設置工事</b><br>事業調書により、担当（警防課）説明                      | 事業内容はおおむね適正であった。このため、消防団員や住民の理解・協力を得つつ、引き続き、計画的な設置に努められたい。   |
| <b>6 火の見櫓解体撤去工事</b><br>事業調書により、担当（警防課）説明                      | 事業内容はおおむね適正と認められ、火の見櫓の老朽化による解体の必然性は理解する。一方で今後、災害時の住民の対応に当たっては、情報の迅速・的確な提供にとどまらず、あらゆる場面で協力し合えるよう、消防団や自主防災組織等との連携を日頃からとっていくことを強く要望する。  |